

佐渡市立両津小学校 アスベスト健康対策等 専門会議 ニュース

2016(平成 28)年 3 月 1 日発行 **第 8 号**

- Index
1. 第 13 回専門会議の内容について
 2. 保護者（父母）アンケートについて
 3. 健康リスク・心理相談の日程について
 4. アスベスト健康対策—この 10 年
 5. アスベスト健康対策 Q & A

発行：佐渡市立両津小学校アスベスト健康対策等専門会議

事務局：佐渡市教育委員会学校教育課 学事指導係 〒952-8501 佐渡市両津湊 198 番地

Tel. 0259-23-4894 Fax. 0259-23-4900 E-mail k-gakko@city.sado.niigata.jp

URL <http://sougo.city.sado.niigata.jp/kyouiku/gakkou/osirase/20081105.jsp>

ご不明な点や、ご意見・ご要望等がございましたら、お気軽に事務局までお問い合わせ下さい。

1. 第 13 回専門会議の内容について

去る 8 月 29 日（土）、標記会議が開催されました。

健康リスク・心理相談の申込み状況と、胸部レントゲン写真の読影状況の報告があり、相談の申込みはありませんでしたが、胸部レントゲンの読影の申込者は 2 名でした。

専門会議では、アスベストばく露を受けた児童が高校に入学する時期に至ったのを機に、入学時の健康診断で実施する胸部レントゲン写真の読影・保管を行い、今年度をもって全対象者への希望聴取が終了しました。医療機関におけるレントゲン写真の廃棄期限も迫ってきていることから、胸部レントゲン写真の保管を希望するかどうか、平成 28 年度において再度、全対象者へ意思確認をさせていただくこととなりました。後日、あらためて申込書を送付いたしますので、希望される方はお申込みください。

また、事故発生から 10 年の節目を迎えるにあたり、今後の健康対策のあり方について、平成 28 年度はこれからの 10 年の方針検討をする必要がある旨の話し合いがされました。

その方針検討の参考として、保護者（父母）へのアンケートを実施することとなりました。趣旨等について、以下に掲載いたします。

2. 保護者（父母）アンケートについて

事故発生から 10 年を迎えるにあたり、保護者（父母）やお子さんの意識調査を行います。これからどのような健康対策が必要になるか、今後の方針を決める参考にさせていただきたいと思います。

また、事故当時に高学年だったお子さんは成人されていることから、通知等の送付先を本人にすることも検討したいと思います。お子さんの意識や希望に関する項目については、お子さんとよく話し合ってお返事ください。

(1) 提出方法 返信用封筒にて郵送（送料はかかりません。）

(2) 提出期限 平成 28 年 3 月 25 日（金）

アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

3. 健康リスク・心理相談の日程について

来年度の相談日（予定）をご案内します。（後日あらためて申込用紙をお送りします。）

開催日	開催時間	相談場所	健康リスク 相談担当	心理相談 担当	申し込み期限
平成 28 年 8 月 27 日(土)	午後 1 時 ～5 時	両津地区 公民館 2 階	名取委員	仲田委員	平成 28 年 8 月 17 日(水)

4. アスベスト健康対策—この 10 年

平成 18 年 6 月、アスベスト除去工事中にアスベストを飛散させ、児童がばく露する事故が発生してから、もうすぐ 10 年が経過します。これまでに市で行った健康対策等については以下のとおりです。

- 平成 18 年 6 月 アスベスト飛散事故発生
- 平成 20 年 5 月 佐渡市立両津小学校アスベスト健康対策等専門委員会 発足
- 10 月 佐渡市立両津小学校アスベスト健康対策等専門委員会 報告書完成
- 平成 21 年 1 月 佐渡市立両津小学校アスベスト健康管理手帳 交付
- 2 月 アスベスト健康対策等専門委員会ニュース第 1 号 発行
- 平成 22 年 8 月 高校 1 年時の胸部レントゲン写真の読影・保管開始
- 平成 27 年 4 月 佐渡市立両津小学校アスベスト健康対策等専門会議へ名称変更
- 毎年 健康リスク・心理相談、胸部レントゲン写真の読影・保管、ニュースの発行

5. アスベスト健康対策 Q & A

過去に発行したアスベスト健康対策等専門会議ニュースに掲載した Q & A について、抜粋し掲載します。

Q 両津小アスベスト事故の健康リスク（発がんリスク）は、どの程度のものだったのでしょうか？

A 全校清掃中という飛散しやすい環境で、アスベストは薄く広く校舎内に飛散し、飛散箇所近くで掃除をした一部の児童だけでなく、全校生徒や教員等、校舎内に滞在した方全てが薄く広く吸引したと推定されます。

アスベスト濃度の推定値は 4.8～2,210 繊維/L と上昇しましたが、アスベストが高濃度に衣服について自宅でも吸引したという最悪の仮定でも、吸入した時間は 8 時間 30 分と短いため、アスベスト関連疾患が生じる健康リスク（発がんリスク）推定値は最大で 100 万人に 4.4 人でした。

健康リスク推定値は「限りなく透明に近い灰色」とも言え、今回の事故でアスベスト関連疾患が今後生ずる事は極めてまれと推定されましたが、ゼロではない状況であるため、今後の健康対策が必要なレベルと考えられました。（ニュース第 1 号より）

Q 将来、もし健康被害が出た場合の補償はどのようなのですか？

A 当委員会（現・会議）で因果関係等を判定し、今回の事故に起因するものについては、佐渡市等が関連費用の補償をするなど、被害にあわれた方の負担軽減に努めます。

具体的には、今後、委員会で検討を重ねてまいります。（ニュース第1号より）

Q 妊娠した場合、アスベスト事故による赤ちゃんへの影響はないのでしょうか？

A アスベストを吸入したことによる健康への影響は、吸った本人のみに肺がんや中皮腫等の石綿関連疾患が起きるとされています。過去には、お母さんがアスベストを吸入してしまった石綿鉱山や石綿工場の従業員の人も多数いたのですが、アスベストを吸ったお母さんから生まれた赤ちゃんに影響は起きませんでした。

貴金属やその他の化学物質と異なり、アスベストは赤ちゃんに明らかな影響は認めないようです。アスベストを吸ったからといって、今後お母さんやお父さんとなり、また妊娠することに問題はありませんので、心配しないでください。（ニュース第2号より）

Q 成人して喫煙したくても、事故を受けた子どもたちはがんになる可能性があるので喫煙しないようにと制限されることは、事故の被害に値するのではないか。

A たばこは嗜（し）好品でなく、一旦覚えると止められない「依存性薬物」です。ニコチンはドーパミンやセロトニンなどを介し、大麻や麻薬や覚せい剤に匹敵する依存性を持っていて止められなくなります。

更に、たばこには60種類もの発がん物質や200種類以上の健康を害する物質が含まれていて、がんを始め肺機能障害、脳こうそくや心筋こうそくなど、重大な病気の原因となります。

両津小学校でのアスベストばく露より、喫煙習慣の方がはるかに健康に悪いことを子どもに教えてあげ、タバコ煙から守ってあげて欲しいと思います。（ニュース第2号より）

Q 万が一健康対策手帳に書いてある三疾患が発症した場合、両津小学校でのアスベストばく露との因果関係はだれがどのように判定するのですか？

A 両津小学校でのアスベストばく露によって引き起こされる可能性のある疾患は、「悪性中皮腫」「良性石綿胸膜炎」「肺がん」が考えられます。万が一、これら3つの疾患の所見が出てきた場合は、両津小学校ばく露との因果関係を専門委員会（現・会議）で早急に判断することになります。それを可能にするため、委員会を今後も継続して開催します。

発症が疑われたら、できるだけ早く事務局にその事実をお知らせください。判定の考え方は疾患によって異なります。（ニュース第3号より）

社会情勢や医療の発展に応じた対策を講じる必要から、将来に渡り、専門会議ニュース発行時などに合わせて現住所（あて先）の確認を行ってまいります。

引越し等であて先が変更になったときには、事務局までお知らせくださいますようお願いいたします。（特に島外へ転出した方々についてはよろしく願いいたします）